

七条中学校だより No. 7

～わくわく そして ときどき～

平成 27 年 1 月 8 日
京都市立七条中学校
校長 西村 彰高

明けましておめでとうございます

皆様、明けましておめでとうございます。

冬休みのニュースと言えば、やはり 61 年ぶりの積雪を記録した大雪でしょうか。家の近くで雪だるまの他に、「アナと雪の女王」に登場したニンジンに鼻に刺したオラフ像も見かけました。ほほえましい思いがしました。

今年も、学校としての使命を果たせるように努めてまいります。今後とも保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



冬休み明け集会から

冬休み明け集会で生徒の皆さんに向けて 3 つのお話をしました。ここでは、新年を迎えたことに関わって話した 2 つのことを掲載いたします。

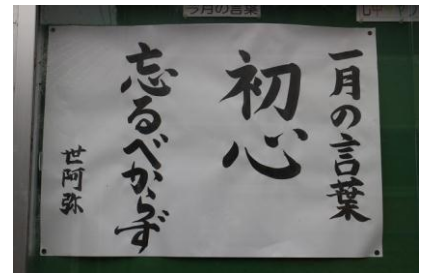


1 つ目は「1 年の計は元旦にあり」です。これはどういう意味でしょうか。

一般的には、「1 年の計画を元旦に立てなさい」という意味で使われているように思います。でも、これは本来の意味ではありません。この言葉は戦国時代に中国地方で大きな勢力を築いた毛利元就の言葉に由来しています。毛利元就は元三（がんさん）の儀式を大切にしていました。元三（がんさん）とは、元旦のことです。年・月・日の三つの元（はじめ）という意味です。元就は「何事も始めが肝心だ。この元旦から朝寝坊して元旦の儀式をおろそかにするようではだめである」と言っています。これは、千里の道も一歩からという意味で、最初の一步からぐずぐずしてはだめであるというのが本当の意味です。この集会にいる皆さんは優秀ということです。

2 つ目は「初心忘るべからず」です。これもどういう意味でしょうか。一般的には、「初めてその事にたずさわった時の感動や意気込みを忘れずに物事に当たらなければならない」と解釈している人が多いようです。

この言葉も室町時代に能という芸能で活躍した世阿弥という人の言葉に由来しています。「初心」ですから、「最初の時の心のもちよう」だと解釈してしまいがちですが、正確に言えば「最初の時の芸のレベル」を意味します。つまり「初心忘るべからず」は「最初の時の芸の未熟さを忘れてはならない」ということです。最初のどれだけ未熟であったかということ覚えておくことで、自分の芸の上達ぶりを相対的に知ることができますし、過去の失敗を覚えておけば、同じ失敗をしなくてすむということです。世阿弥の言葉には三つの「初心忘るべからず」があります。その三つとは『是非とも初心忘るべからず。時々の初心忘るべからず。老後の初心忘るべからず。』です。



まずは、既に皆さんにお話しした最初の時の初心です。そして、芸が上達していく過程においても、徐々に段階を踏んでいくわけですから、その段階段階におけるそれぞれの“初心”があるはずです。芸を上達させたいのであれば、その時々の初心も忘れてはなりません。さらに、年老いて芸を極めたと言えども、ゴールではありません。それはそれで新たな初心なのだと伝えていきます。

つまり、時々の振り返りが大切だということです。自分の力量が伸びたことも確かめることができますし、何ができていないのかもわかります。いくらうまくできるようになったとしても、慢心せずに次への目標に向かって進んでいくことが大事だということです。この言葉を今月の言葉としています。

この 2 つのことを皆さんの頭の片隅に置いて、日々過ごしてください。

新しい先生の紹介

中辻先生が産休に入りますので、その代わりに来られた先生の紹介です。
林 悠哉（はやし ゆうや）先生です。元気いっぱい先生です。
どうぞよろしくお願いいたします。



各部活動の年頭の決意

【女子バレー部】

『声』『笑』『楽』『信』

思いを伝える七中全員バレー。

目指せ!! 京都 1 ☆



【女子バスケット部】

新年の抱負は『思考・判断』『頭を使う』
です。バスケットは頭を使うスポーツなので、1つの判断ミスが大きなプレーのミスにつながるからです。引退まであと約半年になり、もっと技術の向上をめざします。



【サッカー部】

僕たちサッカー部は高い目標をもち、部活動に励んでいます。その目標を胸に秋季大会に挑みましたが、ベスト32とあまり納得のいかない結果となってしまいました。

今年も今までのように高い目標をもち、そして勝てるような練習をして、最後の大会では七条中サッカー部の最高成績を残せるように努力していきます。



【陸上部】

今は部員が互いに競い合って高め合っています。いつも元気いっぱいで、あいさつもしっかりし、昨年春より成長しました。

自分のもっている「100%」の力だけでなく「120%」の力をめざし走っています。今年の目標は皆で支え合いながら自分たちの目標を達成することです。最後の大会で皆が悔いの残らない走りをしたいです。



【美術部】

今年の抱負は「今まで以上に思わずみんなが見入ってしまう作品を作ること」です。個人作品や共同作品で力が発揮できるよう頑張ります。春にはひと味違う美術部をお見せできたらと思います。

来年度の文化祭に向けて毎日活動していきます。



【男子バスケット部】

全市ベスト4を目標に掲げ、毎日真剣に練習に取り組んでいます。夏の公式戦までには、どのチームと当たっても「勝ちたい」という気持ちだけではどこにも負けないチームにしていきたいです。悔いが残らぬよう、今できることに精一杯取り組んでいきます。



【野球部】

チームの目標に向かって、一人一人が毎日練習しています。やるときはやり、楽しむ時はしっかり楽しむというメリハリをつけてやっています。練習は質にこだわってしています。長い時間だらだらやらずに、短い時間で質を高めていきたいです。



【ハンドメイク部】

今年は「団結と協力」をより強固なものとし、活動していきたいと考えています。

また、新しい試みを含め、部内での共同作品を充実させていくことと個人作品にも今まで以上に力を入れていきたいです。



【卓球部】 「笑顔」で「協力」

今年の目標ですが、チームで笑顔を大切にしたいです。全員が笑顔で卓球ができれば、チームは本当の協力ができると思います。大会でもいいところまで残っていけると思うので、そうなれるように頑張っていきます。



【吹奏楽部】

今年は夏にある吹奏楽コンクールで金賞を取ることを目標に、日々練習していきたいです。そのために、部員全員で互いに目標を意識し合えるように努力していきます。

